

## 12月8日 とめよう！原発依存社会への暴走 関電包囲大集会に参加しよう！

11月14日関電高浜原発1号機は国内で初めて運転50年を迎えた。建設時寿命は40年であったのに、来年全面施行予定の「GX電源法」で60年超えも可能とされた。若狭地域では関電の老朽原発が続々と無理やり再稼働されようとしている。老朽化による劣化と安全性問題、自然エネルギーの進展で原発は不要である。また原発敷地内には50年間の核汚染物、使用済核燃料が溢れている。廃炉にしていこう。

### 石破政権は総選挙結果を認め軍拡、原発をやめろ！

石破政権は、安倍軍拡政策と岸田原発再推進政策を掲げて選挙を行った。選挙結果は、裏金問題、旧統一教会問題などもあり、自公政権は大きく後退した。原発問題は大きな争点ではなかったが、能登大地震の影響もあり、敗北の一因であった。

石破政権は政権維持を、経済問題での「譲歩」だけで済ませようとしているが、軍拡と戦争政策、原発再推進政策も追及していくべきである。

### 12/8 関電包囲大集会に参加しよう

政府は40年とされていた稼働期間を60年以上に延長をしようとしている。老朽原発では、交換不可能な圧力容器や配管・電気配線などの老朽化が進み、危険な状態である。また敷地内には使用済核燃料が溢れており、これ以上は保管できない。

「老朽原発うごかすな！実行委」の主催で、関電

本社前での集会と、大阪駅までのデモが呼びかけられている。ぜひ友人を誘い合わせて参加ください。

日時：12月8日（日曜日）13時～16時過ぎ

場所：関西電力本店前集会、大阪駅前までデモ！

行動の高揚によって、原発全廃を実現しよう！

### 東北電力が「女川原発2号機」の再稼働へ

東北電力は10月29日に、福島原発と同時に被災し停止していた女川原発2号機を再稼働させたが、3日には炉内での異常で原子炉を停止した。そして人為ミスだったとして再開し12月には発電予定。

原発は海面上14mにあったので、津波の直接的被害は受けなかったが、建屋には千カ所以上のひび割れ、そして冷却設備が故障した。防波堤や耐震工事を行ったが、牡鹿半島での住民避難の安全対策は不十分。能登大地震での対策も行われていない。東北電力は原発再稼働を中止せよ！



## たった5mmのデブリ破片騒動で明らかになった廃炉問題の深刻さ 100年かけても廃炉は不可能、汚染水の投棄も続く！

ようやく小さな破片を取り出したが、それを検査してもデブリ全体の状態も判断できないし、取出し方法の設計にもつながらない。遅れている計画を進んでいるように見せかけたただである。またこの騒動は東電が下請け任せの無責任体制であることを明らかにした。今後の880トンのデブリの回収方法はまだ空想と試作の段階であり、2051年の廃炉の実現は不可能である。事故炉の倒壊や放射線の放出の危険性は続き、汚染水は日々発生し続け、海洋放出は終わらない。

### 全く無責任な2051年の廃炉計画

東電の2051年廃炉計画は、原発事故から40年後には廃炉を完了し、放射能汚染物を県外に搬出するという計画を表明し、幻想によって事故責任を隠蔽するものである。計画は遅れ、行き詰まり、実現性が問題なのに東電も政府も、現状の徹底的検討と現実的な廃炉計画を作成しようとしていない。

### 福島原発事故炉からのデブリ取出しの夢物語

2号機：今回の試験取出しをもとに、20年代後半から別の手法で段階的に取り出す。まだその装置も計画も何も決まっていない。

3号機：30年代からさらに大規模な取出し方法で本格的な取出しを行う。その方法は「充填固化法」など空想段階である。

1号機：その成果を展開して51年に廃炉へ

東京電力福島第一原発1～3号機の状況 東京電力の資料などから



### 米ボーイング労組 38%賃上げで妥結 (朝日 11/6)

米国航空機大手のボーイング社で50日以上続いていた機械工のストによって4年間で38%の賃上げと、約150万円の一時金が勝ち取られた。ボーイング社では経営者の異常に高額な賞与、過度な株主配当の増加、労働者は削減され、賃金は低いままであった。

### 実質賃金は2カ月連続マイナス (朝日 11/8)

政府・経団連による「春闘」で7月は27カ月ぶりにプラスとなった実質賃金は8月、9月と再びマイナスとなった。大企業中心の賃上げと一時金は、一般企業や不安定雇用者には反映していない。電気・ガス代の補助金もなくなり、米価をはじめ食料品の値上げ、輸入関連物価の上昇が続いている。

### 敦賀原発「不合格」が正式に決定 (神戸 11/13)

原子力規制委は日本原電敦賀2号の再稼働について「不合格」を正式決定。原子炉建屋の直下に「K断層」が伸びており、活動性を否定できないと判断した。

日本原電の東海第2原発も稼働の見込みはない。日本原電は電力を提供していないのに、電力5社は13年間で約1兆5千億の「基本料金」を支払ってきた。それは我々の電気料金から支払われている。

### 兵庫県知事選挙で稲村さん敗北 (各紙 11/18)

兵庫県知事選、県政の建て直しを掲げた稲村さんは奮闘し96万票を獲得したが残念ながら敗北し、斉藤元知事が当選した。選挙では維新や共産系の候補は斉藤を批判せず、選挙の争点を分散させた。

斉藤候補は「可哀そうな姿」を演じ、立花氏たちは斉藤県政を美化したり、フェイクニュースで稲村さんを攻撃した。維新の一部や自民党の一部、そして旧統一教会も斉藤支援を行った。それらの影響をうけて、一部の若者を中心に、SNSを通じた選挙活動が大きな影響を与えた。「選挙の常識」は大きく変化している。

## 「わたつみ会不戦のつどい 2024」

主催：日本戦没学生記念会（わたつみ会）

本年の「不戦のつどい」では、90歳を超えても元気に、「天皇論―『象徴』と絶対的保守主義」と「可能性としての東アジア」を刊行された子安宣邦さんに「天皇とは何であったか」を講演いただきます。

どのようにして「生き死にする皇国の民をつくった」のか、そして「近代天皇制国家日本」について講演。

日時：12月7日(土) 午後2時～4時半

会場：日本教育会館(東京・一ツ橋) 9階

講演：「天皇とは何であったか」

講師：子安宣邦 わたつみ会会員・日本思想史

### ZOOM を使用しての NET 参加

12月2日までにアドレスとお名前と住所をご連絡ください。 [info@wadatumikai.com](mailto:info@wadatumikai.com)

◆参加申込者には、12月2日までに URL とパスワード、資料を送ります。

◆参加申込者は、「後日配信」で参観も可能。

### 案内 11/24 戦争でなく平和の準備を



戦争への準備が戦争のリスクを増やしている。戦争でなく平和のために気鋭の研究者や専門家が論点を掘り下げている。その最先端の話を聞く。

日時：11月24日 開場14:00

場所：長田区文化センター会議室

講師：青井 美帆 (学習院大教授)

主催：市民と野党の長田共同アクション

### 案内 11/26 日韓条約 60年 大阪集会



朝鮮人強制動員をめぐる新たな動きと「過去の克服」

日時：11月26日(火)18:30分より

場所：国労会館1階ホール

講師：太田修(同志社大)

主催：参戦と天皇制に反対する連続行動

### 案内 11/30～12/1 平和をめざす集い in 大分

「ミサイルも弾薬庫もいらない！ 平和をめざすつどい in 大分 2024」が沖縄、呉での集会に引き続き、「知り、つなぎ、止める」をテーマとして開かれます。



① 沖縄・西日本ネットワーク交流集会

日時：11月30日(土)14時00分

場所：大分県アイネス大会議室

② 敷戸弾薬庫フィールドワーク

③ 平和をめざす集い in 大分 2024

日時：12月1日(日)13時00分

場所：大分市若草公園

### 案内 12/7 南京証言集会「老華僑は黙らない」



林伯耀さんと共に作成された映画のパイロット版の上映

日時：12月7日(土)13:00

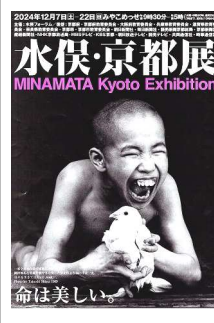
場所：PLP 会館5階大会議室

映画上映と講演

主催：南京60ヶ年大阪

### 案内 12/7～22 水俣・京都展

水俣病は大規模な環境汚染事故です。すでに70年たちますが、解決していません。汚染地区の全住民の健康調査も行われておらず、この事件と同様の加害と被害が福島でも放置され続いています。この展示会は30年前から全国で、近畿では18年ぶり、の開催です。ぜひ会場で被害の声を受け取ろう！



<展示> ■メイン展示 ■患者遺影 ■実物展示 ■美術展示 ■写真展示 ■事件史証言 ■展示説明会 ■

水俣病ブックフェア ■水俣物産展

<ホールプログラム> 日替わり

日時：12月7～22日

場所：京都市勧業館みやこめっせ

地下鉄東西線「東山駅」徒歩8分

入場料：1700円(当日)

# わだつみ会不戦のつどい（2024/12/7）ご案内

主催：日本戦没学生記念会（わだつみ会） 協賛：不戦兵士を語り継ぐ会  
協賛：市民文化フォーラム

1953年秋に、学徒出陣された安田武さんが、朝日新聞の「声」欄に、「学徒出陣から10年、一世代を越えて我々は学徒不戦の誓いを新たにしようではないか」と投書され、それに応えて、全国の大学・高校で集会が開かれました。今回の講師 子安宣邦さんも東大で「不戦の集い」を企画し集会を成功されました。

わだつみ会は、ほぼ毎年「不戦のつどい」を開催し、不戦の誓いと平和への思いを新たにしています。私たちは昨年、『学徒出陣』80年声明を発表し、「絶対不戦」を守り抜くことを再確認しました。

石破政権は安倍政権の軍拡と戦争政策、岸田政権の米国と一体化した戦争準備を引き継ごうとしています。自衛隊の高級幹部の一部は戦争の準備として、戦死者を靖国神社に祀ることを主張し始めています。

本年の「不戦のつどい」では、90歳を超えても元気に、「天皇論—『象徴』と絶対的保守主義」、「可能性としての東アジア」を刊行された子安宣邦さんに「天皇とは何であったか」を講演いただきます。

子安さんの長兄の戦死と墓碑をベースに、どのようにして「生き死にする皇国の民を作り出していた」のか、そして「近代天皇制国家日本」について講演いただきます。

知友お誘いあわせの上ご参加ください。また地方の皆さんにはZOOMを利用してご参加ください。

**日時：2024年12月7日（土曜日）午後2時～4時半（1時半開場）**

**会場：日本教育会館（一ツ橋）9階 901号室（東京メトロ神保町駅）**

**講演：「天皇とはなにであったか」**

**講師：子安 宣邦 氏（会員・日本思想史研究）**

**参加費：一般 800 円（学生 500 円）ZOOM 参加 カンパをお願いします**

**ZOOM 参加：**ZOOM を使用しての NET 参加をご希望される方は12月2日までに事務局アドレスに、お名前と住所をご連絡ください。 [info@wadatumikai.com](mailto:info@wadatumikai.com)

◆参加申し込みされた方には、12月2日までに URL とパスワード、資料を送ります。

◆参加申込された方は、「後日配信」で参観することもできます。

◆ZOOM 参加される方からの、わだつみ会へのカンパは大歓迎です。

郵便振替口座：00170-0-161293

日本戦没学生記念会

**講師紹介：子安 宣邦 さん（こやす のぶくに）**

講師略歴：東京大学文学部卒業。同大学院博士課程 大阪大学文学部教授、1996年退官

大阪大学名誉教授。2020年まで、東京で「昭和思想史研究会」、大阪で「懐徳堂研究会」を開催。

**主な著作：（その一部）**

『本居宣長』岩波新書（岩波書店、1992）、岩波現代文庫

『「事件」としての祖徠学』（青土社、1990）、ちくま学芸文庫

『日本近代思想批判』岩波現代文庫

『江戸思想史講義』（岩波書店、1998年）のち、岩波現代文庫

『国家と祭祀—国家神道の現在』（青土社、2004）

『日本ナショナリズムの解説』（白澤社、2007）

『昭和とは何であったか—反哲学的読書論』（藤原書店、2008）

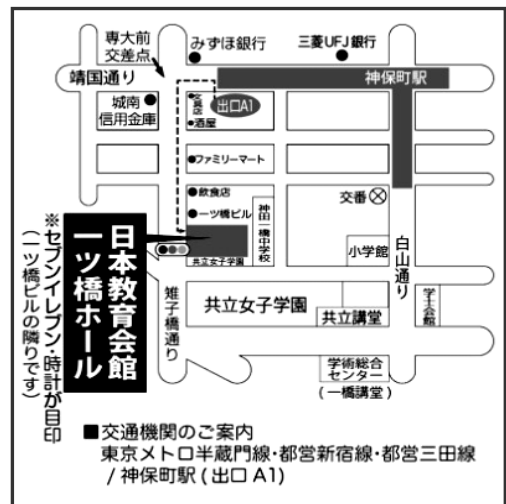
『「近代の超克」とは何か』（青土社、2008）

『日本人は中国をどう語ってきたか』（青土社、2012）

『「大正」を読み直す』（藤原書店、2016）

『天皇論 「象徴」と絶対的保守主義』（作品社、2024）

『可能性としての東アジア』（白澤社、2024）



**日本戦没学生記念会（わだつみ会）**

連絡先：090-3161-8677（永島）

**子安 宣邦** (FBより 2024/11/17)

この写真は召集され、甲府の聯隊に入隊した兄の家族との最後の面会時の写真である。この兄は中国戦線に向かい杭州で帰らぬ人となった。この兄の死とその立派な墓石に真向かいながら、あらためて天皇の国家と庶民兵の死について考えてみた。学徒兵の残した「わだつみの声」に応える私たちの反戦運動の中で私の兄のような数知れぬ庶民兵の死をどう考えるべきなのか。

「陸軍上等兵子安俊隆之墓」という立派な墓石を前にして疑い、考えた末の私の答えを日本戦没学生記念会（わだつみ会）の不戦集会でお話しします。

■ 「わだつみ会不戦のつどい2024」

2024年12月7日（土）午後2時～4時半  
日本教育会館（一ツ橋）9階901号室（東京メトロ神保町駅）

講演：子安宣邦「天皇とは何であったか」

参加費：一般800円、学生500円

